



笠縫学区ホームページ

http://kasanui.net/



発行：笠縫学区まちづくり協議会

連絡先：笠縫市民センター（公民館）
TEL・FAX562-0071

笠縫学区（12月31日現在）

男性 5263人 女性 5561人

世帯数 4449世帯

生きものと共生する豊かな地域社会を
〜未来の子ともたちに（第5話）〜 中村 實

絶滅する生きものの現
状と生物多様性の危機に
ついて（その1）

この地球上に生物が出現してから今日までおよそ40億年という長いながい年月が経過しました。

この間に生物は環境に適応しつつ進化し、多くの種に分かれてきました。現在、地球上の生物のうち約174万種に学名がついて確認されていますが、まだ知られていない生物種も多く存在します。実際には推定で200万種以上の生物が生息していると考えられています。

地球上では生命の発生から今日までに、それぞれの時期に生息していた大多数の生物種が死滅した「大絶滅期」が5回ほどあったことが、化石や地層の研究からわかっています。その原因としては、大

規模な火山の噴火、広域に氷河が広がった大氷河期の到来、巨大な隕石が地球に衝突したこと等による自然環境の激変が指摘されています。

さて、多くの人々があまり気づいていないことですが、現在の地球上では過去の生物の歴史の中でも例を見ないほど急激な生物の絶滅が続いています。

国連の推計では1年間に約4万種もの生物が地球上から姿を消していると言われているので、私たちのまわりからもメダカ、ホタル、タガメ、ヘビそしてツバメなど多くの生きものが姿を消してしまいました。

この原因の1つは私たちの経済活動です。ウナギ、クロマグロ、イセエビ、ズワイガニなどに見られるように、価格の高い生物種の乱獲による個体数の減少があります。

また、都市化の進行等による里地・里山の開発、ため池・沼地・湖岸の埋め立てなど動植物の生息・生育地や生態系の破壊が指摘されています。

した森林が増加したため、里地・里山の自然が荒廃して多様な生物の生息・生育環境が失われました。現在は生物多様性の危機の時代だと言えま



子どもたちによる生きもの調査

原因の2つめは、農山村で過疎や高齢化がすすみ、放棄水田や間伐・枝打ちなどの手入れが不足

す（次回も、本文に引続き生物多様性の危機について述べます）

第2回人権講座

公民館講座

子どもたちの未来のために、私たち大人が今何を
知り、何をなすべきかを共に学びませんか？

下記のとおり開催いたしますので、ご参加よろしく
お願いします。

日 時：3月3日（金）13:30~15:00
場 所：笠縫市民センター（公民館）2階大会議室
内 容：子どもと子育てにやさしい社会をめざして
～わたしが出会った子どもたち～
講 師：甲賀市人権推進課人権教育室 室長補佐
なかむら まゆみ
中邨 真由美さん

防犯カメラの設置

地域安全部会



犯罪の未然防止に資するため、毎年防犯カメラの整備を行っております。

今年度は新たに、平成29年1月、上笠三丁目上笠公園内に防犯カメラを設置いたしました。子どもたちの安全な遊び場にしてまいりましょう。

市・県民税申告相談会

日 時 3月1日（水）13:00~15:30
※12時45分から受付整理券が配布されます

場 所 笠縫市民センター（公民館）2階大会議室
※詳しくは、「広報くさつ」2月1日号で
確認してください。

平成28年度の確定申告期間は
2月16日~3月15日です。

期間間近になると大変混雑します。



ふるさと・かさぬいクイズ

笠縫リーフ100号発刊記念にちなみ、笠縫
学区で100歳を迎えられた方（平成28年12月
31日時点）は、何人おられるでしょうか。



- ① 3人
- ② 6人
- ③ 9人

正解は、次頁下欄に掲載

あの街この町私のまち

OHプラザ草津町内会

『みんなで楽しむまち』

私の町内会は、上笠と下笠にまたがる180世帯
にもおよぶ巨大な町内会です。分譲開始から9年が
経ち、若い世代を中心としたコミュニティーを形成
しています。また町内会には子育て世代が多く、子
どもの数が100名を超えています。

町内会で特に力を入れているのは、夏祭りです！
昨年の夏に行われた夏祭りでは、初めて外部から大
道芸人を呼び、バルーンアートを行いました。子
どもたちのいきいきと輝く目がすばらしかったです。
夏祭りの最後には恒例の大抽選会。商品はみなさん
に喜んでもらえるものを用意して、町内会のみな
さんと一緒に楽しんでいます。

（OHプラザ草津町内会長 中尾 敬伸）



今後の予定（2月15日~3月14日）

2/15（水）	健康推進員料理講習会 「野菜パワー再発見講習会」
2/18（土）	わんぱくっ子パソコン教室
2/24（金）	まち協運営委員会
2/25（土）	学区同推協総括研修会
2/25（土）	民児協 ふれあいキッチン
3/ 1（水）	第二回高齢者ふれあいサロン
3/ 1（水）	市・県民税申告相談会
3/ 3（金）	第2回人権講座
3/ 9（木）	やすらぎ学級閉講式
3/10（金）	地域サロン交流会

笠縫学区医療福祉を考える会

1月19日(木)笠縫市民センターにて、第一回「笠縫学区医療福祉を考える会」が行われました。

昨年、約一年をかけて「地域医療福祉を考える会検討会」が開催され、学区の抱える医療や、福祉に関する課題の洗い出し作業を行いました。

その結果、これから先、課題になる事項を抽出するなどの成果を上げ、次のステップに引き継がれることになりました。

先日開かれたまちづくり協議会の地域福祉部会において、医療福祉を考える会の立上げが諮られ、当面次の6機関の代表者で組織し、活動内容により有識者をお招きすることになりました。

6機関とは学区社会福祉協議会、町内会連合会、老人クラブ連合会、まちづくり協議会地域福祉部会、更生保護女性会、笠縫学区民生委員児童委員協議会です。

議題により参加していただく機関として松原地域包括支援センター、医師会、薬剤師会、ケアマネージャー、福祉施設関係者などを想定しております。

ヘルシークッキング教室・食育講座

やすらぎ学級第8講座

～上手に食べて、体を動かし元気に長生き！～



やすらぎ学級第8回目は、(株)明治より管理栄養士2名を講師に迎え、「ヘルシー！乳クッキング」と題して料理教室を開催しました。

骨や筋肉を作るために必要な栄養素を含んだ乳製品を使って、ミルクたっぷりの中華コースを学びました。主食、副菜、デザートとたくさんのメニューでしたが、参加された学級生は、お手伝いいただいた健康推進員さんとともに手早く仕上げ、栄養バランスのよい料理を味わいました。

午後からはプロジェクターで画像を見ながら、適度な運動と栄養バランスのよい食事で、いかに健康を維持していくかを学びました。

かさぬいフォトウォーク



下笠・寒い朝 (撮影：K・Yさん)

書き初め大会

子ども育成部会
地域協働校事業

書き初め&遊び&お雑煮

1月6日(金)笠縫市民センターにおいて、書き初め大会を行いました。参加者は、小学生36名、スタッフ31名総勢67名でした。

笠縫小学校 中村先生の指導を受けながら、練習紙にて筆はこび、スミの使い方などを何度も練習しました。



清書用半紙にのびのびと大きな字を書きあげました。手にはいっぱいのおスミを付けてながらも、真剣に書き初めをする子どもたちの表情が印象的でした。

昼食は、健康推進員さん手作りの餅を皆でいただき、午後からは風船等を使い、地域の人と共にふれあい遊びをして、楽しいひとときを過ごしました。

作品は市民センターの1階ホール(和室前)に掲示してあります



平成28年度笠縫学区社会福祉協議会
『賛助会員 みなさまへのお礼』

今年度は下記の方々に、賛助会員としてご協力いただきました。ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

- ◇馬場商事(株)
- ◇(株)千紀園
- ◇(株)滋賀銀行草津西支店
- ◇ハッピー六原草津店
- ◇草津市農業協同組合本店
- ◇宮本クリニック
- ◇草津上笠郵便局
- ◇(有)ケイ・エス・ケイ草津西販売
- ◇マルキ印刷(株)草津営業所
- ◇ひとみ小町歯科
- ◇デイサービス ハーモニー
- ◇コンディトライ アキヤマ
- ◇耳鼻咽喉科岸本医院
- ◇(株)いいぬま
- ◇(有)花一輪
- ◇山田呉服店
- ◇(株)堀文工業
- ◇Y・S草津西
- ◇社会保険労務士法人中嶋事務所
- ◇二宮第二歯科
- ◇(株)まここ
- ◇(株)ヒキタ事務機
- ◇ふとんのフジタ
- ◇お菓子司 若松
- ◇オウミ住宅(株)
- ◇季節料理 大喜
- ◇宇野書店
- ◇せき川クリニック
- ◇富士産業(株)
- ◇家具の協栄
- ◇不二電機工業(株)
- ◇(株)市金工業社
- ◇(株)吉田工務店
- ◇山元造園(株)
- ◇ツバメ電機
- ◇池田商店
- ◇(有)ヤマモト運送

草津市立笠縫まちづくりセンターがスタート

草津市では、四月一日から現在の市民センター（公民館）が地域まちづくりセンターに変わります。「自分たちのまちは自分たちでつくる」という理念のもと、昨年六月に草津市立地域まちづくりセンター条例を公布し、住民が主役のまちづくりの拠点施設として新たなスタートを迎えます。

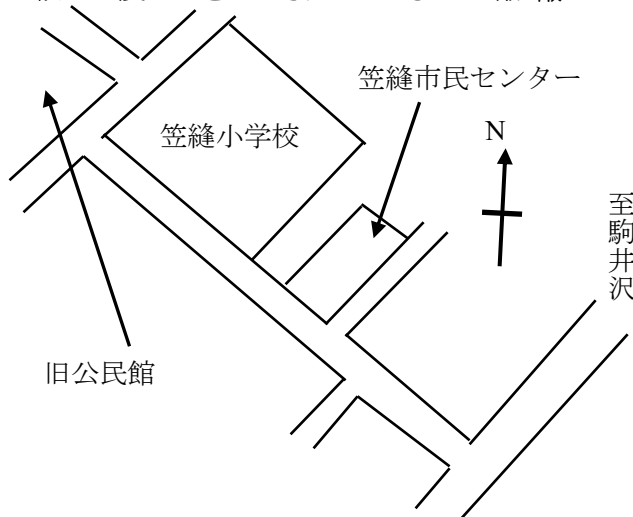
《地域まちづくりセンターとは》

現在の市民センター



（公民館）で行われていた、市政情報および地域情報の発信や住民の皆さんによるまちづくり活動、生涯学習の場としての役割を引き継ぎながら、より地域の皆さんの想いに沿った、住民が主役のまちづくりの拠点として柔軟な利用をいただけるようになり

ます。なお、昨年十月下旬からコンビニでの諸証明の取得が可能となったことから、市民センターで行なっている諸証明の発行（住民票や印鑑登録証明書、戸籍謄抄本、所得証明書など）は三月末で終了します。コンビニでの諸証明の取得には、マイナンバーカードが必要になりますので、申請がお済でない方は申請手続きをお願いいたします。



《背景》

草津市では、人口減少や高齢化率のピークは全国的な傾向と比べると、遅れて到来するとの想定をしています。

しかし、限られた資源の中で今後益々多様化する市民ニーズに対応し、誰もが安心して住み続けることができる地域をつくるためには、中長期的な視点を持って住民の皆さんと行政機関などの協働の取組みを進めていくことが大切です。

「リーフかさぬい」100号を記念して

ようやくというか、やっと「リーフかさぬい」は100号に達した。最初の号は平成二十年十月一日号、約八年前である。その時編集に携わった者は、旬刊にするか月刊にするかに迷った。月一の発行でニュースが集まるだろうか、との不安であった。

発行の辞に「一葉落つる時は皆秋を知る」と、一葉で世間の人に時を教える譬えを書き、決して「濡れ落ち葉」にはなりたくないと言った。多くの方の投稿や、幾多のニュース、催し物に助けられながらも、二八（ニュースの少ない二月、八月）の危機を何度か越えた。催し物の突然の中止や延期に思わず頭を抱えた。

新しいコーナーを作った。多くの批判を頂き、数ヶ月で撤収したことも度々、それでも飽きずに繰り返し返してきた。本誌に批判を持つ人は、批判だけでその才を眠らせ

ることはあまりにも惜しい。ボランティアではあるが、編集の席を空けてお待ちしているので、是非とも編集委員に参加して頂きたいと思う。

「ゆずりは」という常緑高木は、新葉が出来てから旧葉が落ちるめでたい植物として、正月の飾りにも用いられた。

「リーフかさぬい」も旧葉を安心させるような、新葉の編集者を心からお待ちしております。リーフの兄弟誌であるホームペーシの編集に奮闘された、別所氏の死を悼むとともに、心より冥福を祈りたい。

